と。なお，必要に応じて，農業生産工程管理や危害分析・重要管理点方式などについても扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)については，それぞれの飼育目的に応じた動物の役割や飼育管理の方法，動物実験の基礎について体系的な内容を扱うこと。

オ　〔指導項目〕の(5)については，動物の飼育や実験，畜産経営の深化などに関する実践的な活動を行うこと。

第12　農業経営

1　目　標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 農業経営に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 「農業経営」とプロジェクト学習

ア　農業経営に関するプロジェクト学習の意義

イ　プロジェクト学習の進め方

(2) 農業の動向と農業経営

ア　我が国と世界の農業

イ　農業経営の動向

ウ　食料・農業・農村政策と関係法規

エ　農産物消費の動向と社会経済環境

(3) 農業のマネジメント

ア　農業マネジメントの概要

イ　組織のマネジメント

ウ　人材のマネジメント

エ　会計のマネジメント

(4) 農業のマーケティング

ア　農業マーケティングの概要

イ　農業のマーケティング戦略

ウ　農産物のブランド化

(5) 農業経営とマーケティングの活動

ア　市場調査・環境分析

イ　農業の起業計画・マーケティング戦略の策定

ウ　農業経営の実践と評価

(6) 農業経営とマーケティングの実践

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　農業経営とマーケティングの基本的な内容について，学校農場の経営に関する事例を通して理解させ，農業経営者の先進的な実践に触れるよう留意して指導すること。なお，地域の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。

イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(6)については，(1)を踏まえ，(2)から(5)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)については，グローバル化，消費者ニーズの多様化などに関わる消費者と農業・食とをめぐる課題や社会構造の変化に着目し，六次産業化や農産物の輸出入などに関する農業経営の動向を扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)については，農業協同組合や生産組合の事業，農業生産組織や農地所有適格法人の運営及び経営について，簿記などの内容を踏まえた基礎的な内容を扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)については，顧客の視点から見た農産物の価値の創造やマーケティングを実践する過程について，マーケティング戦略の視点から扱うこと。また，(4)及び(5)については，マーケティングや経営管理に取り組むプロジェクト学習を扱うこと。

オ　〔指導項目〕の(6)については，農業経営とマーケティングに関する実践的な活動を行うこと。なお，起業や六次産業化に関わる内容につい